

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業のんの ルーム 港店		
○保護者評価実施期間	R7年 1月17 日		~ R7年 1月27 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	13 (兄弟2組合む)
○従業者評価実施期間	R7年 1月17 日		~ R7年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供の状況を常に保護者に伝えることができている	連絡帳の活用と、送迎時の際保護者の方に当日の状況や困っていることなどを伺う。	保護者の方に直接事業所に来ていただき、支援の様子や子供の様子を見てもらい、より良い支援に役立つ機会を増やしていく。
2	個別支援計画など昨年12月からAIセラピストを使っての取り組みを始め、利用児の特性を踏まえてより良い支援を行っていく。	AIセラピストを取り入れ保護者の方からも子供の特性に関する情報を沢山取り入れ、新しい考えでの支援を行う。	新しい試みに保護者の方に協力していただき、子供の特性に合った今以上の支援を図りたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の児童クラブや地域の子供たちと交流する機会が少ない。	コロナ以降他児との交流は避けてきたが、長期休みの際は公園など郊外療育を行い、その範囲内での他児との交流になってしまう。	長期休みなどの際、児童クラブや以前は利用していた児童館等を利用し交流を図りたい。
2	父母会の活動支援や、保護者同士の交流の機会や兄弟、家族に向けたイベントが企画が少ない。	イベント等の企画は以前から春・秋の収穫イベントを行い、昨年から駒場店との合同での家族参加のレクリエーションを企画したが、保護者の参加が少なくその場での交流が図れなかった。	仕事を持っていて参加できない保護者が多いので、長期休みなどを利用して、保護者が参加出来るような企画を考えて行きたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障害児通所支援事業のの ルーム 港店

公表日 R7年月日

利用児童数 令和7年2月27日

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	58.00%	8.00%		34.00%		活動に合わせて十分なスペースが確保されている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	50.00%	8.00%		42.00%		職員の配置数は確保できている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	75.00%	8.00%		17.00%		トイレなど設備構造上無理なところはあるが、手すりなど利用者に配慮しながらの設備充実を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	67.00%	8.00%		25.00%		活動に合わせた空間づくりに努めている。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	83.00%	17.00%				AIセラピスト導入で特性に応じた専門性のあり支援を目指している。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92.00%	8.00%				支援プログラムと提供している支援内容が合うような支援に努める。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	92.00%	8.00%				子供と保護者のニーズに合った支援計画の作成に努める。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100.00%					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	84.00%	8.00%		8.00%		支援計画の沿った支援に努めている。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92.00%			8.00%		職員同士で話し合いを行い、活動プログラムが固定化されないように図っている。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	25.00%	25.00%	8.00%	42.00%		児童館の利用や郊外療育で機会を作ることができるように努めている。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.00%					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92.00%	8.00%				計画書を示しての説明を行っている。
	14 弔喪所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42.00%	33.00%		25.00%		家族に対しての研修等は行っていないが、家族も参加できる行事を開催している。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	100.00%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	67.00%	25.00%	8.00%			定期的ではないが、送迎の際保護者様からお話を伺い対応、また必要に応じて支援ミーティングも行う。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.00%					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	50.00%	33.00%		17.00%		保護者や兄弟が参加できる行事を開催し、交流の機会を設けている。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100.00%						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.00%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	75.00%	8.00%		17.00%		年間行事予定の配布や、日々の様子を個人のブログにて公表している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.00%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	83.00%			17.00%		契約時に説明を行こなっている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	75.00%			25.00%		年に3回火災や地震等を想定した避難訓練の実施。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	83.00%			17.00%		安全計画作成済みで安全確保し支援を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100.00%					
満足度	27	子どもは安心感をもち通所していますか。	100.00%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	75.00%	25.00%			記入なし	通所が楽しいの回答が100%になるようにこれからも支援の質の向上を図りたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100.00%					

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業のんの ルーム 港店				公表日	R7 年 2 月 27 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.00%		活動に合わせて十分なスペースは確保できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.00%		職員の配置数は確保できている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80.00%	20.00%	トイレなど施設構造上無理なところはありますが、手すりなど利用者に配慮しながら設備の充実を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.00%		活動に合わせた空間を作っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.00%		利用児の状態に合わせてクールダウンの部屋や、静かに勉強したいなどの要望に応じて部屋を用意できている。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.00%		職員間での話し合いや情報提供を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%		アンケートの内容を参考にし必要な業務改善を行う。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%		朝礼の際意見を話し合い、それ以外にもお互いに意見を伝え合い、業務改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100.00%		外部評価を参考にし業務改善につなげるようにしている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.00%		研修会や勉強会に参加、資質の向上や他事業所の職員との交流を図る		
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.00%		AIセラピストを導入し、作成・公表を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.00%		AIセラピストを導入し、保護者からのアセスメントシートでのニーズや課題を分析し計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.00%		朝礼やその他必要な会議で、子供の状況を職員間で共有し、共通理解のもと作成を行う。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.00%		個別支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.00%		確認し、必要に応じて話し合いを行う。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.00%		必要な項目を選択し支援内容に設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.00%		全職員で活動内容を話し合い共有し活動プログラムを作成している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.00%		活動内容が固定化しないように話し合いを行う。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.00%		状況を確認しながらの対応を行う。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80.00%	20.00%	朝礼等で打ち合わせを行い、連携しての支援ができるように図っている。	勤務状態や利用児のお迎えなどを考慮しながら朝礼等で支援内容を確認する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80.00%	20.00%	職員間で共有できるように努力している。	送迎等の関係で当日は無理があるため、次の日の朝礼等で共有を図る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.00%		ケース記録に記載し、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.00%		定期的なモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100.00%		利用児の特性に合わせ基本活動に沿った支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.00%		いくつかの選択肢を用意し自分で選択できるように支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.00%		児発管が参加しているが、必要に応じて他の職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80.00%	20.00%	連携の体制はできている。	主治医との連携をもっと密にしたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80.00%	20.00%	情報共有を行っている。	学校迎えの際担任と情報交換を行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.00%		必要に応じて情報提供をお願いしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.00%		提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.00%		定期的な連絡会に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	80.00%	20.00%	コロナ以前は児童館等での他児との交流があったが、現在は郊外療育で行った公園等での交流を行っている。	再度児童クラブや児童館での交流を図っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.00%		参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.00%		連絡帳の記載や送迎時に保護者に対して丁寧に報告をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80.00%	20.00%	必要に応じて出来る限りで保護者の悩みや課題に寄り添うようにしている。	年に2～3回家族参加できる行事の開催。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.00%		見学時、契約時に丁寧な説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.00%		AIセラピストでは保護者からのアセスメントシートを基に作成、子供や家族の意向も確認する。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.00%		同意を得ている。		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.00%		定期的ではないが、必要に応じて支援を行っている。		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	80.00%	20.00%	年に数回の活動を企画するが、諸事情により参加していただける保護者が少ないが、引き続き交流する機会を設ける。	家族で参加できるような体制づくりに努めたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.00%		担当職員が速やかに対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.00%		行事予定などプリントでまたブログを活用し情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.00%		同意書を取り交わし職員一同十分に注意を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.00%		理解が得られるような伝達方法を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60.00%	40.00%	コロナ以降地域との連携等は難しくなっている。	七夕や町会の祭りなどの参加できるように交流を考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.00%		マニュアルを作成し保護者や職員に周知し、年に3回の避難訓練も実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.00%		定期的に年3回の避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.00%		契約時の際保護者から聞き取りを行い、新たな服薬等が始まった時は再度保護者から聞き取りを行う。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.00%		契約時に保護者から聞き取りを行う。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.00%		安全計画作成済みであり、必要な研修や訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.00%		子供の安全計画も作成済みであり、季節ごとの安全計画もあるためその都度家族に周知していく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.00%		記録に記載するとともに、報告書を作成し、職員で再発防止に向けて検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.00%		研修会参加や所内勉強会を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.00%		身体拘束の同意書を作成し、保護者に説明後同意を図る。		